



未来への懸け橋、変わりゆく景色

当初は、2027年開通予定だった「リニア中央新幹線」、残念なことに計画が大幅に遅れ、JR東海は明言していませんが、開業2034年以降となる見通しです。2024年のリニア開通を見越して様々な工事が行われている当地域にとっては、大きな影響がでることは必定です。

リニアが開通した暁には、当地域は校歌の一節にある「都の塵も通い来ぬ」場所から、首都圏の最も近い場所になります。少子化による人口減が大きな課題となっている昨今、都市部からの流入を期待したいところですが、逆にストロー効果により人口流出が拡大するという懸念もあります。

ちなみに、当地域においても少子化は深刻な問題であり、**来年3月の中学校卒業予定者数は1,369名ですが、10年後の2034年は1,063名と約25%の減少となります。学級数(40人学級)に換算すると約8学級の減少となります。**開通時期の延長が明らかになった今、高校のみならず小・中を含めたこの地域の学びの在り方を深く議論していく必要があるのではないかと思います。

今、天竜川ではリニアの橋脚工事が進んでいます。この工事先が、子どもたちの豊かで輝かしい未来、そして地域の発展に繋がっていることを切に願っています。



風越山を目指して伸びる



天竜川にどっしりと



景色が大きく変わる

今後の活躍に期待！

今秋、福井県営陸上競技場で開催された「北信越高等学校陸上競技新人大会」において、**本校の1年生小幡千尋君が男子競歩の部で見事に優勝しました。**中学校時代はサッカー部に所属していたとのことですが、元来走ることが好きで高校では新たなチャレンジをしたいということで陸上を始めました。本格的に競歩に取り組んで3か月余りでしたが、動き(足の運び)が新鮮で楽しいとのこと。バイパス沿いを黙々と練習している姿をよく見かけましたが、オフシーズンの今は、体幹トレーニングを積み軸作りに励んでいます。その地道な成果が来春のインターハイできっと現れることだと思います。ガンバレ！！

